

大曲支援学校せんぼく校令和元年度PTA親子研修会

# 「わいわい里山 おいしい里山」

講師—藤原誠太（藤原養蜂場 養蜂家） 生徒—30名／保護者—25名

9:30～ 試食タイム

◆そば◆百合◆ラベンダー◆さくら◆ブルーベリー◆栃の蜂蜜をパンに浸け試食。



10:00～ 講演会

- ミツバチは朝5時から活動している。ミツバチは記憶力が高く3～5 km離れた場所を記憶して、そこへ日に20～30回通う。
- ミツバチはハチミツを集めているのではない。花の蜜＝ハチミツではない。蜂を媒介として初めてハチミツ（ブドウ糖や果糖など）となる。
- ミツバチは一説によると、千万年以上前から社会性をもった生物として活動



○藤原さんの講演……祖父の代より118年間養蜂事業を営んでいる。

- ミツバチが最近いなくなってきた理由は農薬にある。農薬の使用によりミツバチが場所を覚えられなくなってしまう。一方で、農産物の3割はミツバチがいないと育たない。イチゴはミツバチを介さず人間の手で受粉させると、満遍ない受粉ができず、歪なイチゴができてしまう。
- ミツバチのおかげで、害虫がいなくなるとか、カラスが周辺からいなくなる現象が見られる。ミツバチは黒いものを追いかける習性がある。
- ミツバチの巣箱1箱にはハチが3万匹いる。
- 巣箱を開けずにハチミツを搾るものも開発され、養蜂が一般家庭でも身近なものになりつつある。
- ハチミツや養蜂に興味をもっていただき、知っていただくことで、さらに身近なものになればと考えている。